

～学びと育ちの連続性～

浦幌小中一貫CS便り

平成28年1月26日 (NO.70)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

うらほろフォーラム2016

2月7日(日)9時～17時30分、中央公民館
において、標記研修会が開催されます。

外部講師や地元実践者の発表、討論会があ
ります。CS委員会や校長会、町P連が後援して
います。お誘いあわせの上ご参加ください。

1月26日開催 第3回浦幌町小中一貫CS推進協議会

視察報告「地域とともにある学校づくり推進フォーラム東京会場」

12月4日、文部科学省で開催された標記研修
会に白井研究所副所長と久門教育長が出席し、
次のような研修成果を発表しました。

- ① 12月末の中教審で、CSの全国展開、「地域
学校協働本部」の設置が答申される。国民一
人ひとりが当事者意識を持って学校や地域
を創り上げる「志」が大切である。
- ② CSと地域学校協働本部が連携・協働し、両
輪となって相乗効果を発揮することが大切。
- ③ 学校支援の組織的な取組を推進するCSコ
ーディネータの位置付け及び役割が重要。事務職員がCS担当者となるケースや高校にお
けるCS推進の実践例が紹介され、CSの広がりを確認することができた。



議題「浦幌学園・上浦幌学園の活動交流」

各学園のCS担当者、学習指導部長、生徒指導部長、うらスタ部長等から2学期の活動報告
及び3学期活動計画について報告があり、次のような活動交流をしました。

- 「**学習常規の必要性**」→ 望ましい生活習慣の定着が学力向上に果たす役割は大きい。小中一
貫教育を推進するためにも、学習常規の徹底を図る必要がある。ノート指導も大切である。
浦幌町教育研究所で示している学習常規を全町的に広げ徹底していきたい。
- 「**スマートフォン使用のルール作り**」→ スマホやゲームに費やす時間の多さが、学力形成に影
響を与えている。家庭における望ましい生活時間をつくるため、使用のルール作りが必要。
- 「**小中一貫CSの推進**」→ 各学園では、CS担当者が中心となって工夫を凝らしたCS便りや
CSカレンダーの発行、CSコーナー等の整備に努め、学校と家庭・地域を繋ぐ大切な役割
を果たし成果をあげている。

また、「地域学習(うらほろスタイル)」のカリキュラム整備、中学校一日体験入学、小中合
同漢字検定、ジョイント教室や乗り入れ授業などに意欲的に取り組んでいる。浦幌町の小中
一貫CSが着実に進んでいることをお互いに確かめ合い、次の事業展開に繋いでいく。